



1～4カ月児の事故予防



※ 赤ちゃんから目を離しても大丈夫な環境を作りましょう！
まだ自力では十分に動けない月齢です。まずは落とさないように。

1. 赤ちゃんを家に一人に置いて出かけない。車内に一人で乗せておかない。
2. 赤ちゃんをクーハン(かご)に寝かせて運ばない。しっかりと抱いて運ぶ。
3. 赤ちゃんを抱いているときは、自分の足元に注意する。
4. 赤ちゃんのまわりにたばこや小物を置かない。外出時も注意。
赤ちゃんの口は最大32mm。
5. 暖房器具の熱に直接触れないように寝かせる。
ストーブ、ヒーター、こたつ、電気カーペットなど。
6. 寝ている赤ちゃんの上に、物が落ちてこない様にしておく。
7. 自動車ではベビーシートに乗せる。軽い事故でも腕力では支えられない。
8. ドアの開閉はゆっくり。風などで急に閉まらないようにしておく。
9. 入浴中の赤ちゃんから目を離さない。
事故例) 一緒に入浴中にうたた寝して、赤ちゃんが溺れた。
10. 母乳やミルクを飲ませた後は、ゲップをさせてから寝かせる。
11. 敷き布団は硬めのものを使用する。掛け布団を顔に深くかけすぎない。
顔のそばにタオルやガーゼを置いておかない。
12. ベビーベッドの柵はいつも上げておく。
13. 赤ちゃんを抱きながら、熱い物を食べたり飲んだりしない。
赤ちゃんは皮膚が薄く、深いヤケドになりやすい。



ハピネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178

